

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|--|-------------------------------|-------------|-------|
| ■事業の担当課 | 保健福祉部健康増進課 | | ■担当係 | 成人保健係 |
| ■評価事業名称 | 集団健康教育事業(国保) | | | |
| ■事業開始年度 | 平成3年度 | | | |
| ■評価事業コード | 040200 - 254 | ■会計区分 | 国民健康保険特別会計 | |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 03 健康づくりの推進と地域医療の充実 | | |
| | ■施策 | 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進 | | |
| ■事業の類型 | 05 ソフト事業(任意) | | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に定めはあるが任意の自治事務 | | | |
| ■法令等の名称 | 健康増進法 | | | |
| ■関連計画の名称 | 国保データヘルス計画 | | 北上市健康づくりプラン | |
| ■事業の目的と概要 | 自らの生活を見直し、健康増進を図る。生活習慣病予防、健康増進等に関し講演会及び実技指導を実施 | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成30年度事業計画 | 平成30年度事業量実績 |
|--------|--------------|-------|--------------------|---|
| 01 | 集団健康教育事業(国保) | 一般市民 | 開催回数75回、参加者数1,500人 | 開催回数72回、1,361人再掲卒煙アシスト講座を実施。1回目参加者9名、2回目参加者8名 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 291 | 93 | 80 | 117 | |
| 人件費 | 1,340 | 976 | 790 | 2,942 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 1,631 | 1,069 | 870 | 3,059 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 指標の説明 |
|-------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------------|
| 01 | 参加人数1人あたりコスト | 1,081円 | 625円 | 574円 | 2,247円 | 1回当たりコスト/参加人数 |
| 02 | 開催回数1回当たりコスト | 24,343円 | 14,253円 | 12,254円 | 42,486円 | フルコスト/開催回数 |
| 03 | 教室参加者数(人/回) | 22.5人 | 34人 | 21.4人 | 18.9人 | 開催回数、参加者数 |

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

国保データヘルス計画及び健康づくりプランに基づき、概ね滞りなく実施できたが、回数及び参加者数は計画指標に到達できなかった。

問題点・課題等

実施方法の工夫や周知方法に検討が必要と考える。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

生活習慣病予防及び健康維持のために必要な事業であるため、今後も継続して実施していく必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了